

第17回
沖縄県地域年金事業運営調整会議資料

令和5年8月16日
那覇年金事務所



目次

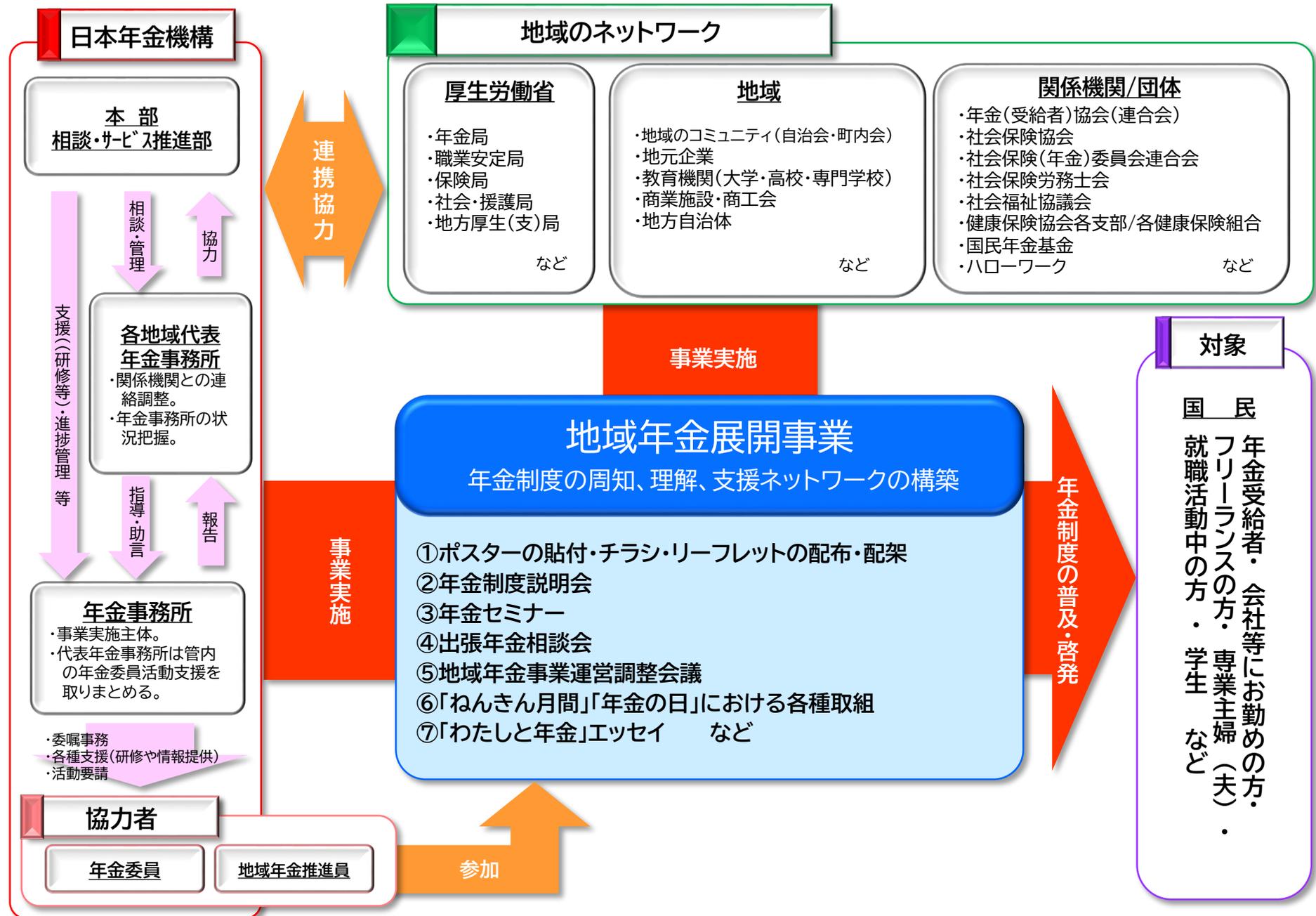
- 1. 地域年金展開事業の概要 P 1
- 2. 令和4年度事業実施結果報告（令和4年4月～令和5年3月） P 4
- 3. 令和5年度事業計画 P 18

※参考資料

- 1. 年金セミナー P 25
- 2. 沖縄県の国民年金保険料納付率（現年度） P 29

1. 地域年金展開事業の概要

1. 地域年金展開事業の概要 (1/2)



1. 地域年金展開事業の概要 (2/2)

地域年金展開事業の主な取り組み

- ◆公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。
- ◆また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

《取組内容》

| | |
|--------------|--|
| 地域連携事業 | <ul style="list-style-type: none">・職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。・市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。 |
| 年金セミナー事業 | <ul style="list-style-type: none">・職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。 |
| 地域相談事業 | <ul style="list-style-type: none">・年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。 |
| 年金委員活動支援事業 | <ul style="list-style-type: none">・年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。 |
| 地域年金事業運営調整会議 | <ul style="list-style-type: none">・公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。 |

2. 令和4年度事業実施結果報告 (令和4年4月～令和5年3月)

○地域連携事業

| 計画 | 実績 | 総括及び課題等 |
|---|--|--|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: -40px; top: 50%; transform: translateY(-50%);">市町村・官公庁</p> <p>① 市町村や官公庁に、窓口での年金制度に関するポスターの掲示及びリーフレットの設置等を依頼し、地域住民への情報提供の充実を図る。</p> <p>② 市町村広報誌等を活用し、年金制度に関する周知を行う。</p> <p>③ 市町村担当者向け情報誌を定期的に発行し、制度改正や事務処理上の留意点について情報提供を行う。</p> | <p>① 市町村や官公庁に、「年金生活者支援給付金」や「ねんきんネット」に関するポスターの掲示及びリーフレットの設置等を依頼し、地域住民への周知広報を実施した。 また、市町村や年金委員に日本年金機構のアンニュアルレポートを送付し、事業運営の状況や目標の達成状況について報告した。</p> <p>② 市町村広報誌へ国民年金保険料臨時特例免除制度等に関する記事を提供し、地域住民への広報を行った。 また、日本年金機構の公式ツイッターにて沖縄在住者向けに国民年金制度の周知を図るとともに市町村におけるSNSを活用した国民年金の周知を依頼した。</p> <p>③ 市町村担当者向け情報誌「かけはし」を定期的に発行し、制度改正や事務処理上の留意点について、タイムリーな情報提供を行った。 送付時期：5月、7月、9月、11月、1月、3月（奇数月に発行）</p> <div data-bbox="864 997 1174 1378" data-label="Image"> </div> | <p>○ 国民年金保険料納付率の更なる向上、無年金及び低年金の防止を図るためには、住民の身近な窓口である市町村の協力が不可欠であるため、今後も市町村と協力連携した取組を実施していく。</p> <div data-bbox="1585 997 1902 1378" data-label="Image"> </div> |

計画

実績

総括及び課題

④ 市町村職員への研修を実施する。

④ 市町村職員への研修会・制度説明会を以下のとおり実施した。

| 実施月 | 事務所 | 対象市町村 | 参加者 | 開催形式 |
|-----|-----|---------------------------------|-----|---------|
| 4月 | 名護 | 大宜味村 | 2名 | 対面式 |
| 6月 | 浦添 | 浦添市、南城市、西原町、与那原町、久米島町 | 11名 | 対面式 |
| 8月 | 那覇 | 豊見城市、南大東村、八重瀬町、粟国村、渡名喜村、渡嘉敷村 | 7名 | オンライン形式 |
| 8月 | 平良 | 多良間村 | 1名 | 対面式 |
| 11月 | 名護 | 伊江村、金武町、大宜味村、名護市、国頭村 | 7名 | 対面式 |
| 11月 | 石垣 | 与那国町 | 1名 | 対面式 |
| 12月 | コザ | 沖縄市、宜野湾市、うるま市、北谷町、嘉手納町、読谷村、北中城村 | 14名 | 対面式 |
| 12月 | 名護 | 東村、伊是名村、宜野座村、本部町、恩納村、今帰仁村 | 7名 | 対面式 |
| 1月 | 那覇 | 那覇市、糸満市、南城市、渡嘉敷村、渡名喜村、粟国村、八重瀬町 | 7名 | 対面式 |
| 1月 | 石垣 | 与那国町 | 1名 | 対面式 |
| 2月 | コザ | 沖縄市、宜野湾市、うるま市、北谷町、北中城村 | 5名 | 対面式 |
| 2月 | 平良 | 多良間村 | 2名 | 対面式 |
| 2月 | 石垣 | 石垣市、竹富町 | 6名 | 対面式 |
| 3月 | 平良 | 宮古島市 | 2人 | 対面式 |

○ 市町村研修会を実施した後のアンケートを基に国民制度はもとより老齢・遺族・障害年金制度についても研修会の内容に取り込んでいく。

| 計画 | 実績 | 総括及び課題等 |
|---|---|---|
| <p>市町村・官公庁</p> <p>⑤ 市町村・官公庁との連携を図る。</p> | <p>⑤官公庁と連携し研修会及び会議を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 九州厚生局との共催により、九州管内市町村職員への事務説明会を開催した。新型コロナウイルス感染症対策として、昨年度同様、各年金事務所のテレビ会議システムを活用し博多年金事務所から発信する方法で開催した。 <p>開催日：令和4年11月29日（火） 令和4年12月8日（木）</p> <p>テーマ：国民年金に係る適用事務 年金給付（障害年金）</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働局との共催により、沖縄社会保険・労働保険徴収事務連絡協議会を開催した。 <p>開催日：令和4年9月20日（火）9：30～10：30 出席者：14人</p> <ul style="list-style-type: none"> 水島理事長が沖縄県副知事、那覇市長、浦添市長、宜野湾市長を表敬訪問し、「沖縄県の国民年金保険料の納付率向上に向けた取組（沖縄プロジェクト）」を報告した。 <p>日時：令和5年7月3日（月）10：00～12：00 14：30～15：00 場所：宜野湾市役所、浦添市役所、那覇市役所</p> <p>日時：令和5年7月4日（火）10：00～10：15 場所：沖縄県庁</p> <ul style="list-style-type: none"> 水島理事長が沖縄県副知事表敬訪問の後、報道関係者に対し記者会見を行った。 <p>日時：令和5年7月4日（火）10：30～11：00 場所：沖縄県庁記者会見室</p> | <p>○ 官公庁と連携し研修会を充実させ年金制度の周知に努める。</p>  <p>池田沖縄県副知事と日本年金機構水島理事長 ※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。</p> |

| 計画 | 実績 | 総括及び課題 |
|--|---|---|
| 社会保険労務士会 <ul style="list-style-type: none"> ① 定期的に連絡会を開催するとともに、適宜情報提供・情報共有を行う。 ② 連絡会議を開催することにより情報提供・意見交換を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ① 連絡会議を毎月1回開催し、年金相談に関する事務処理誤り等の情報提供を行うとともに、電子申請の推進に関する協力依頼を行った。 ② 令和4年度関係行政機関等連絡会議を開催した。 日時：令和4年12月2日（金）10：00～11：30 場所：那覇年金事務所2階会議室 出席者：13名 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 受給開始時期の選択肢の拡大や被用者保険の適用拡大などの大きな制度改正があり、機構の事業推進には社会保険労務士会との連携が不可欠であることから、さらに協力連携を進めていく。 |
| 全国健康保険協会 <ul style="list-style-type: none"> ① 定期的に連絡会議を開催し、情報共有を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ① 沖縄県社会保険事業連絡調整会議を開催した。 日時：令和4年4月22日（金）15：00～15：30 場所：那覇年金事務所2階会議室 出席者 10名 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 厚生年金保険の適用に伴う保険証の発行や、健康保険の給付と年金の給付など、相互に関連する業務について理解を深めることは、お客様サービスの観点からも非常に重要であることから、引き続き連携強化を図る。 |
| 社会保険協会 <ul style="list-style-type: none"> ① 社会保険協会発行の広報誌へ記事を掲載し、会員事業所への情報提供を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ① 奇数月に発行される社会保険協会発行の広報誌「社会保険おきなわ」に記事を掲載し、情報提供を行った。 主な掲載記事 <ul style="list-style-type: none"> ・算定基礎届の季節です ・20歳になったら国民年金 ・学生納付特例制度のポイント ・「在職老齢年金」 ・「一部のパート・アルバイトの方の社会保険の加入の義務化について」 ・年金事務所の口座振替と電子申請 ・令和4年10月から育児休業等期間中における社会保険料の免除要件が改正されます。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 記事掲載による情報発信をさらに効果的なものとするため、より分かりやすく読みやすい記事となるよう工夫する。 |



| 計画 | | 実績 | 総括及び課題 |
|----|--|----|--------|
|----|--|----|--------|

① 自治会や民生委員等に対し、年金制度説明会を開催する。

企業・団体等

① 以下のとおり自治会、民生委員、企業に対して年金制度説明会を開催した。

| 実施時期 | 事務所 | 団体等名 | 参加数 |
|------|-----|------------------|------|
| 8月 | 那覇 | 那覇市民生委員児童委員連合会 | 23名 |
| 11月 | 那覇 | 那覇第一民生口委員児童委員協議会 | 13名 |
| 11月 | コザ | うるま市自治会長連絡会議 | 69名 |
| 2月 | 那覇 | 那覇中央郵便局 | 29名 |
| 3月 | 那覇 | J A 沖縄南風原支店 | 30名 |
| 3月 | 那覇 | 第一総業 株式会社 | 13名 |
| 3月 | 那覇 | 市町村各单位民児協会長研究協議会 | 135名 |

○ 市町村との連携を図り民生委員児童員に対して年金制度周知を図ることができた。

① 「わたしと年金」や「ねんきん月間」について、マスメディアを活用した広報を行う。

マスメディア

① 沖縄県政記者クラブに対し、以下のとおりプレリリースを行った。

- ・ 令和4年6月1日（水） 令和4年度「わたしと年金」エッセイ募集。
- ・ 令和4年10月31日（月） 「ねんきん月間」及び「年金の日」のお知らせ。

※ 令和4年度「わたしと年金」エッセイ募集について、一般の方より2件の応募があった。



○ マスメディアを活用した周知広報は、非常に重要であることから引き続き継続した対応を実施していく。

○年金セミナー事業

| 計画 | 実績 | 総括及び課題 |
|---|---|---|
| <p>① 年金セミナーの実施に向け、教育関係機関への協力依頼を行う。</p> <p>② 中学校・高校・大学・専門学校等に対し、積極的なアプローチを行う。また、アプローチを行う際は、地域年金推進員を積極的に活用する。</p> | <p>① 年金セミナーの実施に向け、沖縄県教育委員会（令和4年4月）、沖縄県教育庁県立学校教育課（令和4年4月）、沖縄県総務私学課（令和4年7月）、沖縄県教育庁義務教育課（令和4年9月）、に対し協力依頼を行った。</p> <p>沖縄県公立学校校長会（令和4年7月）に出席し、年金セミナーの開催にかかる協力依頼を行った。</p> <p>② 教育機関に案内文書を送付するとともに、年金事務所から電話等により個別にアプローチを行った。令和4年9月より地域年金推進員と機構職員が同行し、沖縄本島内の県立高校40校に個別にアプローチを行い、年金セミナーの開催依頼を行った。</p> | <p>○ 学校側のカリキュラムやニーズを十分把握するとともに、多様な年金セミナーが実施できることを積極的にアピールし、数あるセミナーの中から年金セミナーを選んでいただけるよう努める。</p> <p>○ 学校長OBである地域年金推進員によるアプローチは非常に有効である。今後も連携を密に取組を進めていく。</p> |

開催に向けたアプローチ



| 計画 | | 実績 | 総括及び課題 |
|-----------|--|--|--|
| 年金セミナーの開催 | ① 新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、各学校の状況や要望に応じた年金セミナーを開催する。 | ① 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し年金セミナーを開催した。（P25 参考資料参照） ※大学校3回、専門学校17回、高等学校56回（県立高等学校41校、私立高等学校 2校）。 | ○ 新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で対面式のセミナー開催を実施した。 |
| 地域年金推進員 | ① 地域年金推進員による学校へのアプローチ。 | ① 令和4年9月より沖縄本島内の県立高校40校を訪問し年金セミナーのアプローチを行った。 | ○ 年金セミナーの活性化のためには地域年金推進員の協力が極めて重要であるため、引き続き、連携を強化していく。 |

○地域相談事業

| 計画 | | 実績 | | | | 総括及び課題 |
|-----|----------------------------|------------------------------|--------|-----------|------|---|
| 市町村 | ① 遠隔地の市町村において、出張年金相談を開催する。 | ① 以下のとおり各市町村において出張年金相談を開催した。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の影響の中実施した出張相談においては、感染防止対策を徹底したうえで実施することができた。 ○ 遠隔地にお住いの被保険者・受給者にとって、出張年金相談は極めて重要な相談の機会であり、多くのニーズもあることから、引き続き市町村や関係機関と連携しながら実施していく。 |
| | | 事務所 | 開催場所 | 開催日 | 相談件数 | |
| | | 那覇 | 座間味村役場 | 11月7日 | 4件 | |
| | | 名護 | 伊是名村役場 | 11月8～9日 | 11件 | |
| | | 石垣 | 与那国町役場 | 11月15日 | 3件 | |
| | | 平良 | 多良間村役場 | 11月16日 | 3件 | |
| | | 名護 | 伊平屋村役場 | 11月15～16日 | 17件 | |
| | | コザ | 中城村役場 | 11月17日 | 14件 | |
| | | コザ | 読谷村役場 | 11月29日 | 12件 | |
| | | 名護 | 伊江村役場 | 12月1日～2日 | 12件 | |

○年金委員活動支援事業

| 計画 | 実績 | 総括及び課題 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|---|--------------------|-----|----|----|-------------------|-----|----|-------------------|-----|-----|-------------------|-----|----|-------------------|-----|-----|-----|----|----|-------|--------|----|----|-----|-----|-------|---------|----|----|-----|----|----------------|--------------------|----|----|----|--|
| <p>① 年金委員に対する定期的な研修会・意見交換会を開催する。</p> | <p>① 沖縄県地域型年金委員連絡会および各年金事務所にて地区連絡会を開催し、年金委員に対して研修会及び意見交換会を行い年金委員の活動を支援した。</p> <p>沖縄県地域型年金委員連絡会（日時、場所） 日時：令和4年 5月18日 15：00～16：00 令和4年 8月18日 13：00～14：00 令和4年11月15日 13：00～14：00 令和5年 2月15日 13：00～14：00 場所：那覇年金事務所 2階会議室 【地域型地区年金委員連絡会】</p> <table border="1" data-bbox="594 694 1480 984"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>事務所</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月</td> <td>那覇・コザ・浦添・名護・平良・石垣</td> <td>27名</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>那覇・コザ・浦添・名護・平良・石垣</td> <td>27名</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>那覇・コザ・浦添・名護・平良・石垣</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>那覇・コザ・浦添・名護・平良・石垣</td> <td>29名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【職域型年金委員研修会】</p> <table border="1" data-bbox="594 1071 1480 1481"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>事務所</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月</td> <td>那覇・名護</td> <td>6名/18名</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>コザ</td> <td>78名</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>那覇・浦添</td> <td>10名/50名</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>浦添</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>那覇・コザ・名護・平良・石垣</td> <td>10名/60名/48名/10名/5名</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>平良</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table> | 実施月 | 事務所 | 人数 | 5月 | 那覇・コザ・浦添・名護・平良・石垣 | 27名 | 8月 | 那覇・コザ・浦添・名護・平良・石垣 | 27名 | 11月 | 那覇・コザ・浦添・名護・平良・石垣 | 24名 | 3月 | 那覇・コザ・浦添・名護・平良・石垣 | 29名 | 実施月 | 事務所 | 人数 | 8月 | 那覇・名護 | 6名/18名 | 9月 | コザ | 78名 | 11月 | 那覇・浦添 | 10名/50名 | 1月 | 浦添 | 10名 | 2月 | 那覇・コザ・名護・平良・石垣 | 10名/60名/48名/10名/5名 | 3月 | 平良 | 2名 | <p>○ 年金委員は地域や職場での制度周知・理解の促進に欠かせないことから、今後もしっかりとその活動をサポートしていく。</p> |
| 実施月 | 事務所 | 人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5月 | 那覇・コザ・浦添・名護・平良・石垣 | 27名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8月 | 那覇・コザ・浦添・名護・平良・石垣 | 27名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11月 | 那覇・コザ・浦添・名護・平良・石垣 | 24名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3月 | 那覇・コザ・浦添・名護・平良・石垣 | 29名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施月 | 事務所 | 人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8月 | 那覇・名護 | 6名/18名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9月 | コザ | 78名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11月 | 那覇・浦添 | 10名/50名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1月 | 浦添 | 10名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2月 | 那覇・コザ・名護・平良・石垣 | 10名/60名/48名/10名/5名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3月 | 平良 | 2名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

年金委員

| 計画 | 実績 | 総括及び課題 |
|----|----|--------|
|----|----|--------|

年金委員

② 各種情報提供や制度周知の協力依頼を適宜行う。

③ 年金委員の委嘱拡大に向け、事業所や関係機関に対し勧奨を行う。

② 【職域型】

- 「短時間労働者の適用拡大に向けた年金委員への制度周知」

【地域型】

- 情報誌「なごみ・便り」(4月、6月、8月、10月、12月、2月)
- 「令和4年度制度改正資料」
- 「年金委員通信」
- 「ねんきんネット」
- 「アニュアルレポート2021」



【職域型】

- 年金の日ポスター掲示とリーフレットについて職場内への設置依頼を行った。

【地域型】

- 年金の日ポスター掲示とリーフレットを公民館等へ設置するよう依頼を行った。

③ 事業所や関係機関に対し、主に文書/電話による勧奨を行った。

| 事務所 | 職域型 | | 地域型 | |
|-----|-------|----------------|-------|-------------|
| | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 那覇 | 394 | 421 | 25 | 27 |
| 浦添 | 296 | 312 | 5 | 6 |
| コザ | 348 | 376 | 9 | 11 |
| 名護 | 173 | 130 | 6 | 8 |
| 平良 | 72 | 79 | 11 | 14 |
| 石垣 | 100 | 111 | 12 | 14 |
| 合計 | 1,383 | 1,429 (+46) | 68 | 80 (+12) |

※ () は昨年度比

○ 情報誌を活用し年金制度改正等の周知を行うことは重要であることから、今後もタイムリーに継続的に提供していく。

○ 年金委員の委嘱数は、職域型・地域型とも微増となっているが、年金委員のメリットを感じていただけるような取組を検討し、委嘱拡大を目指す。

○ 「ねんきん月間」 及び 「年金の日」 における取組

| 計画 | 実績 | 総括及び課題等 |
|--|---|---|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">年金委員表彰式</p> <p>① 年金委員功労者表彰式を開催する。</p> | <p>①年金委員功労者表彰式を以下のとおり開催した。 日時：令和4年11月11日（金）14：00～15：00 場所：メルキュールホテル沖縄那覇 受賞者：日本年金機構理事表彰 6名</p> | <p>○ 感染拡大防止策について会場側と十分に事前準備を行い、スムーズな表彰式の運営ができた。</p> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">各年金事務所の取組</p> <p>① 各年金事務所において、公的年金制度を積極的にPRするための独自の取組を実施する。</p> | <p>①年金事務所の最寄り駅にてチラシ（ねんきんネット）配布した。 日時：令和4年11月30日（水） 7：45～8：30 場所 壺川駅（100枚） 古島駅（100枚）</p> <p>②商業施設を利用して出張年金相談会を実施した。 日時：令和4年11月10日（木）10：00～15：00 場所 メイクマン石垣店 相談者 13名</p> <p>日時：令和4年11月30日（水）13：00～16：00 場所：サンエー宜野湾コンベンションシティ 相談者 6名</p> <p>③県内の金融機関及び国の機関に対して国民年金制度周知チラシの設置及び国民年金保険料の口座振替申出書の勧奨依頼を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 協力依頼した金融機関（各2,000枚） 琉球銀行、沖縄銀行、沖縄海邦銀行、郵便局、JA 沖縄 協力依頼した国の機関（各100枚） 沖縄国税事務所、沖縄労働局 | <p>○ 新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、スケジュール通り大型商業施設での年金相談会を実施した。</p> <p>○ 広く国民の皆様には年金制度知っていただく大切な機会であることから、本部とも連携し、継続的な取組を実施していく。</p> |



○地域年金事業運営調整会議

| 計画 | 実績 | 総括及び課題 |
|--|--|--|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: -40px; top: 50%; transform: translateY(-50%);">運営調整会議</p> <p>① 地域年金事業運営調整会議を年2回開催し、取組状況を報告する。</p> <p>② 地域年金事業運営調整会議委員に、年金制度や事業に関する情報提供を行う。</p> <p>③ 地域年金事業運営調整会議でのご意見を取組に反映させる。</p> | <p>① 新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン方式によるWeb会議（MicrosoftTeam）を実施した。 日時：令和4年7月15日（金）14：00～16：00 場所：那覇年金事務所 2階会議室 主な議題：令和3年度事業実施結果報告 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応 オンラインビジネスモデルの推進 令和4年度事業計画</p> <p>② 令和4年度第2回地域年金事業運営調整会議を以下の通り開催した。 日時：令和5年2月22日（水）14：00～16：00 場所：沖縄県教職員共済会館「八汐荘」屋良ホール 主な議題：令和4年度沖縄県地域年金展開事業の実施状況 令和5年度沖縄県地域年金展開事業の事業計画（案） その他</p> <p>② 地域年金事業運営調整会議委員に、「ねんきん月間」や「年金の日」にかかるポスター・リーフレット、予約相談にかかるリーフレットを送付し、各種取組への協力依頼を行った。</p> <p>③ ご意見について、次ページのとおり検討します。</p> | <p>○ 地域年金事業運営調整会議は、機構本部と連携して継続的に取り組んでいく。</p> |

| | ご意見 | 対応状況 |
|--------|--|---|
| 運営調整会議 | 1 令和3年度沖縄プロジェクト取組結果報告書のP4で沖縄県の若年者納付率が全国と差が改善しているので、年金セミナーの実施を引き続きお願いいたします。 | 今年度のセミナーの実績を踏まえ更に取り組を実施していきます。 |
| | 2 地域年金展開事業の概要の地域ネットワークに係る関係団体の中に税理士会がないが、国税庁と同じく沖縄県税理士会とも協力することを提案します。 | 事務局として、沖縄税理士会と協力連携できるよう検討していきます。 |
| | 3 沖縄県内で開催されている市町村会に参加している首長に対し国民年金事業に係る情報提供を実施してはどうでしょうか。 | 関係機関に連絡を取り、検討していきます。 |
| | 4 関係機関へ依頼したチラシ・パンフレット等の数を把握し、次年度に向けて目標数を定めてはどうか。 | 関係機関へ配布した数を確認し、次回会議資料に記載していきます。また、次年度に向け、目標数を設定して配付するか検討していきます。 |
| | 5 日頃から、公的年金制度の運営にご協力いただきありがとうございます。お客様に対する市町村の窓口担当の丁寧な対応のお陰で、納付率が向上していますことを深く御礼申し上げます。 年金事務所におかれましては、納付率の向上のためこれまで通り市町村との情報連携をお願いいたします。 | 市町村との情報連携を強化していきます。 |
| | 6 年金セミナーを実施する際、障害年金制度の周知をお願いしたい。 | 年金セミナーでの障害年金制度の周知をしていきます。 |
| | 7 学校では生徒1人毎にパソコンが配布されている環境であり、ネットワークにアクセスができるため、年金ネットへのアクセス等オンラインを活用したセミナーの内容も検討していただきたい。 | 学校側と調整を図り、オンラインセミナーを検討していきます。 |
| | 8 商業施設での出張相談は予約制か。予約制でなければ、相談者数を増やすために広報を工夫してはどうか。 | 商業施設での出張相談は、予約制ではありません。出張相談会で相談者数を増やせるよう広報等を積極的に実施していきます。 |
| | 9 「わたしと年金」エッセイについて、沖縄県での応募はありますか。学校での年金セミナー開催の際、案内・広報をしてはどうか。 | 現時点で沖縄県での応募数は把握しておりません。今後は、年金セミナー開催時にエッセイ募集の案内していきます。 |

3. 令和5年度事業計画

(1) 地域連携事業

市区町村、自治会、事業所、関係機関等と協力連携し、公的年金制度の周知・広報の充実及び国民年金保険料の納付率向上を図る。

1. 関係機関・関係団体との連携による周知・啓発
 - 市区町村、ハローワーク、税務署等に、窓口での年金制度に関するポスターの掲示及びリーフレットの設置を依頼し、地域住民への情報提供の充実を図る。
 - 関係機関の会議や研修会に参加し、年金制度や事業に関する情報提供を行う。
2. 市区町村広報誌等による周知・啓発
 - 市区町村広報紙等を活用し、出張年金相談の日程や年金制度に関する情報提供を行う。
 - 社会保険協会発行の広報誌に事務手続きに関する記事等を掲載する。
3. 企業や団体に対する年金制度説明会の開催
 - 企業や団体等に対する年金制度・事務手続き説明会を通じて、電子申請やねんきんネット、制度改正事項等について広く周知・広報する。
 - 開催にあたっては、オンラインを積極的に活用し、多様な開催方式に対応する。
4. 関係機関・関係団体との連携強化
 - 市区町村担当者への研修や事務打合せ会を定期的に行う。開催にあたっては、研修テーマ、開催方式について市区町村担当者のニーズを十分に聞き取り、効果的に実施する。
 - 市区町村担当者向け情報誌「かけはし」を年6回（奇数月）送付し、情報提供を行う。

(2) 年金セミナー事業

中学生や高校生、大学生等の若い世代を対象に、公的年金の大切さを知り、制度への理解を深めていただくため、多様な年金セミナーを積極的に実施するとともに、効果的なアプローチを検討・実施する。

1. 年金セミナー開催に向けたアプローチ

- 教育関係機関に対し、中学校や高校での年金セミナー開催に向けた協力依頼を行う。
- 中学校、高校、大学、専門学校等に対し、リーフレットやセミナー動画（DVD）の送付、電話勧奨等のアプローチを積極的に行う。

2. 年金セミナーの実施および内容の充実化

- Web会議サービスを活用したオンラインでの年金セミナーの拡大を図る。
- オンラインセミナーの他、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえでの対面式セミナー、セミナー動画（DVD）の視聴など、各学校のニーズや環境に応じた多様なセミナーを開催する。
- 実施後のアンケートや先生方のご意見をもとに、適宜、実施方法や資料の見直しを図る。
- セミナー講師育成のため、機構職員に対する研修やコンテストを充実させる。

3. 地域年金推進員の活用

- 地域年金推進員が高校、大学、専門学校等を訪問し、リーフレットを活用した説明及び年金セミナー開催のアプローチを行う。
- 地域年金推進員に対する研修や連絡会議を開催し、意見交換・情報共有を行う。

(3) 地域相談事業

地域における年金相談や制度説明会を通じ、年金制度への理解を深めていただくことを目的として、各年金事務所が主体となり、自治体や教育機関、商業施設等に出向き、出張年金相談を実施する。

1. 市町村等における出張年金相談の実施
○年金事務所から遠隔地の市町村に赴き、定期的に出張年金相談を開催する。
2. 社会福祉施設における障害年金制度説明会の開催
○特別支援学校等に対し、障害年金制度に関する制度説明会開催のアプローチを積極的に行う。
○特別支援学校等の教職員や保護者に対し、制度説明会を実施する。
○オンラインによる説明会の他、感染症対策を徹底したうえでの対面による説明会など、教職員や保護者のニーズに応じた多様な制度説明会を開催する。
3. ハローワークでの雇用保険受給者説明会にあわせた国民年金制度説明会の実施
4. 「ねんきん月間」を活用し、多様な方法により公的年金制度の周知・広報を実施する。

(4) 年金委員活動の活性化・委嘱拡大

年金委員活動のサポートを目的として、定期的・継続的に年金委員研修や連絡会を行うことで年金制度に関する知識の向上及び活動の活性化を図るとともに、年金委員制度を広く周知し、新たな年金委員の委嘱拡大に関する取り組みを実施する。

1. 定期的な研修会の実施

- 厚生労働省からの通知に基づき、制度改正事項や重点協力依頼事項を中心とした研修会を開催する。
- Web会議サービス等を活用し、開催方法を工夫することで、年金委員が気軽に参加できる環境整備を行う。

2. 地域型年金委員連絡会の開催

四半期ごとに地域型年金委員連絡会及び地区連絡会を開催し、組織的活動の活性化を図る。

3. 積極的な情報提供及び制度周知への協力依頼

- 「年金委員活動のてびき」や情報誌「なごみ便り」を送付し活動を支援する。
- 各種啓発資料（退職後の年金手続きガイド、アニュアルレポート等）を送付するなど、積極的に情報提供を行う。
- 情報提供にあたっては、日本年金機構HPコンテンツの充実やメールマガジンの配信など、多様な媒体で発信を行う。

4. 委嘱数拡大に向けた取組

- 職域型年金委員については、年金委員未設置事業所に推薦依頼文書を送付する。
- 地域型年金委員については、推薦母体となる関係団体に年金制度の周知広報の重要性を理解していただいたうえで、積極的に推薦依頼を行う。

(5) 「ねんきん月間」及び「年金の日」における取組

11月の「ねんきん月間」や11月30日の「年金の日」において、各年金事務所が創意工夫し、公的年金制度の普及・啓発活動を積極的に実施する。

1. 年金委員功労者表彰式の開催
2. 各年金事務所における公的年金制度の普及・啓発活動の実施
3. 「わたしと年金」エッセイ募集
○教育機関や関係団体に対し広報及びアプローチを積極的に行い、応募数の増加を図るとともに、応募のあった教育機関に対し感謝状を贈呈する。

(6) 地域年金事業運営調整会議

地域年金展開事業の事業計画にかかる今後の取り組み方針や実施結果を報告し、効果的かつ効率的な事業運営を行うため、地域の有識者より意見・助言を伺います。

1. 開催予定時期
○令和5年7月
2. 主な議事
○事業計画、事業実施結果の報告など

※参考資料

1.年金セミナー

(1) 学校別年金セミナーの実施状況 (令和4年度)

| 通番 | 学校別通番 | 学校名 | 受講者 | 実施日 | 講義形式 |
|----|-------|--------------------------|-------|------------|-------|
| 1 | 1 | 沖縄国際大学 (総合文化学部 英米言語文化学科) | 1 | 令和4年4月22日 | 対面 |
| 2 | 2 | 沖縄国際大学 (経済学部) | 15 | 令和4年12月19日 | 対面 |
| 3 | 3 | 沖縄国際大学 (経済学部) | 20 | 令和4年12月22日 | 対面 |
| | | 小 計 | 36 | | |
| 4 | 1 | 沖縄県立具志川職業能力開発校 | 123 | 令和4年4月12日 | 対面 |
| 5 | 2 | 沖縄情報経理専門学校 那覇校 | 22 | 令和4年6月8日 | 対面 |
| 6 | 3 | スペースチャイナ外語学院 | 8 | 令和4年7月8日 | 対面 |
| 7 | 4 | 医療法人おもと会 沖縄リハビリテーション福祉学院 | 70 | 令和4年7月25日 | 対面 |
| 8 | 5 | 学校法人おもと会 沖縄看護専門学校 | 60 | 令和4年7月26日 | 対面 |
| 9 | 6 | 専門学校 沖縄中央学園 | 50 | 令和4年7月29日 | 対面 |
| 10 | 7 | スペースチャイナ外語学院 | 6 | 令和4年8月2日 | 対面 |
| 11 | 8 | 沖縄プライダルモード学園 | 35 | 令和4年9月22日 | オンライン |
| 12 | 9 | 沖縄職業能力開発大学校 (ポリテクカレッジ) | 74 | 令和4年10月19日 | 対面 |
| 13 | 10 | 沖縄歯科衛生士学校 | 50 | 令和4年11月11日 | オンライン |
| 14 | 11 | 宮古すみれ洋裁学院 | 1 | 令和4年11月28日 | DVD |
| 15 | 12 | 沖縄アカデミー専門学校 | 20 | 令和4年12月7日 | 対面 |
| 16 | 13 | 中部地区医師会立くしかわ看護専門学校 | 83 | 令和4年12月9日 | 対面 |
| 17 | 14 | 専修学校 パシフィックテクノカレッジ | 200 | 令和4年12月16日 | DVD |
| 18 | 15 | 専門学校 日経ビジネス (中部校) | 182 | 令和4年12月16日 | DVD |
| 19 | 16 | 沖縄県立農業大学校 | 35 | 令和4年12月23日 | 対面 |
| 20 | 17 | 学校法人南星学園サイ・テク・カレッジ美浜 | 110 | 令和5年2月10日 | DVD |
| | | 小 計 | 1,129 | | |
| 21 | 1 | 真和志高校 | 8 | 令和4年6月15日 | 対面 |
| 22 | 2 | 真和志高校 | 9 | 令和4年6月17日 | 対面 |
| 23 | 3 | 豊見城南高校 | 120 | 令和4年7月13日 | 対面 |
| 24 | 4 | 沖縄カトリック高校 | 60 | 令和4年10月22日 | 対面 |
| 25 | 5 | 知念高校 | 320 | 令和4年11月15日 | 対面 |
| 26 | 6 | 豊見城高校 | 310 | 令和4年11月16日 | 対面 |
| 27 | 7 | 本部高校 | 41 | 令和4年11月29日 | 対面 |
| 28 | 8 | 宜野湾高校 | 229 | 令和5年1月11日 | 対面 |
| 29 | 9 | 宮古工業高校 | 29 | 令和5年1月11日 | 対面 |
| 30 | 10 | 宮古工業高校 | 20 | 令和5年1月11日 | 対面 |
| 31 | 11 | 沖縄水産高校 | 160 | 令和5年1月18日 | 対面 |
| 32 | 12 | 興南高校 | 334 | 令和5年1月24日 | 対面 |
| 33 | 13 | 八重山農林高校 | 81 | 令和5年1月25日 | 対面 |
| 34 | 14 | 前原高校 | 308 | 令和5年1月26日 | 対面 |
| 35 | 15 | 北谷高校 | 257 | 令和5年1月27日 | 対面 |
| 36 | 16 | 浦添高校 | 350 | 令和5年1月30日 | 対面 |
| 37 | 17 | 嘉手納高校 | 150 | 令和5年1月30日 | 対面 |
| 38 | 18 | コザ高校 | 360 | 令和5年1月31日 | 対面 |
| 39 | 19 | 名護高校 | 315 | 令和5年1月31日 | 対面 |
| 40 | 20 | 中部農林高校 | 200 | 令和5年2月1日 | 対面 |

| 通番 | 学校別通番 | 学校名 | 受講者 | 実施日 | 講義形式 |
|----|-------|-----------|--------|-----------|------|
| 41 | 21 | 北山高校 | 97 | 令和5年2月1日 | 対面 |
| 42 | 22 | 南部農林高校 | 153 | 令和5年2月2日 | 対面 |
| 43 | 23 | 真和志高校 | 120 | 令和5年2月3日 | 対面 |
| 44 | 24 | 那覇工業高校 | 173 | 令和5年2月3日 | 対面 |
| 45 | 25 | 球陽高校 | 280 | 令和5年2月3日 | 対面 |
| 46 | 26 | 名護商工高校 | 100 | 令和5年2月3日 | 対面 |
| 47 | 27 | 宮古高校 | 250 | 令和5年2月3日 | DVD |
| 48 | 28 | 八重山商工高校 | 136 | 令和5年2月3日 | 対面 |
| 49 | 29 | 沖縄工業高校 | 302 | 令和5年2月6日 | 対面 |
| 50 | 30 | 浦添商業高校 | 208 | 令和5年2月6日 | 対面 |
| 51 | 31 | 美来工科高校 | 257 | 令和5年2月6日 | 対面 |
| 52 | 32 | 具志川商業高校 | 165 | 令和5年2月6日 | 対面 |
| 53 | 33 | 宮古総合実業高校 | 50 | 令和5年2月6日 | 対面 |
| 54 | 34 | 宮古総合実業高校 | 34 | 令和5年2月6日 | 対面 |
| 55 | 35 | 南風原高校 | 280 | 令和5年2月7日 | 対面 |
| 56 | 36 | 中部商業高校 | 230 | 令和5年2月7日 | 対面 |
| 57 | 37 | 具志川高校 | 240 | 令和5年2月7日 | 対面 |
| 58 | 38 | 北中城高校 | 268 | 令和5年2月7日 | 対面 |
| 59 | 39 | 辺土名高校 | 22 | 令和5年2月7日 | 対面 |
| 60 | 40 | 南風原高等支援学校 | 14 | 令和5年2月7日 | 対面 |
| 61 | 41 | 那覇西高校 | 348 | 令和5年2月8日 | 対面 |
| 62 | 42 | 美里高校 | 204 | 令和5年2月8日 | 対面 |
| 63 | 43 | 与勝高校 | 152 | 令和5年2月8日 | 対面 |
| 64 | 44 | 那覇商業高校 | 340 | 令和5年2月9日 | 対面 |
| 65 | 45 | 南部商業高校 | 115 | 令和5年2月9日 | 対面 |
| 66 | 46 | 美里工業高校 | 265 | 令和5年2月9日 | 対面 |
| 67 | 47 | 読谷高校 | 309 | 令和5年2月9日 | 対面 |
| 68 | 48 | 宮古総合実業高校 | 34 | 令和5年2月9日 | 対面 |
| 69 | 49 | 宮古総合実業高校 | 34 | 令和5年2月9日 | 対面 |
| 70 | 50 | 首里東高校 | 26 | 令和5年2月28日 | 対面 |
| 71 | 51 | 八重山特別支援学校 | 4 | 令和5年3月3日 | 対面 |
| 72 | 52 | 首里東高校 | 31 | 令和5年3月6日 | 対面 |
| 73 | 53 | 首里東高校 | 39 | 令和5年3月17日 | 対面 |
| 74 | 54 | 首里東高校 | 29 | 令和5年3月20日 | 対面 |
| 75 | 55 | 首里東高校 | 32 | 令和5年3月23日 | 対面 |
| 76 | 56 | 首里東高校 | 31 | 令和5年3月23日 | 対面 |
| | | 小 計 | 9,033 | | |
| 76 | | 合 計 | 10,198 | | |

(2) 過去4年間の年金セミナーの実施状況及び月別実施内訳（令和4年度）



| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|------|-------|-------|-------|--------|
| 実施回数 | 39 | 26 | 58 | 76 |
| 受講者数 | 3,152 | 2,208 | 6,232 | 10,198 |



| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|-----|----|----|-----|----|----|-----|-----|-----|-------|-------|-----|
| 実施回数 | 2 | 0 | 3 | 5 | 1 | 1 | 2 | 5 | 7 | 12 | 32 | 6 |
| 受講者数 | 124 | 0 | 39 | 308 | 6 | 35 | 134 | 722 | 555 | 2,593 | 5,516 | 166 |

過去4年間のセミナー実施の推移をみると、実施回数並びに受講者数とも新型コロナウイルスの影響で活動が制限された令和2年度を除き、着実に増加しています。

令和4年度は新型コロナウイルスが一定程度落ち着いたことから76回実施し、10,198名の皆様に受講いただくことが出来ました。

令和4年度のセミナー月別実施内訳をみると1月と2月に集中していることがうかがえます。特に2月は高等学校で卒業前の探究の時間等を活用して実施したことから、1か月だけで32回実施し、5,516名の皆様に受講いただくことが出来ました。

(3) 年金セミナー受講後のアンケート結果

年金のイメージ

※アンケート結果は、229件回答のうち無作為に抽出して集計しています。

○ セミナー前

| 選択肢 | 回答 |
|--------------|-----|
| 1. とても良い | 13件 |
| 2. まあ良い | 16件 |
| 3. どちらとも言えない | 17件 |
| 4. あまり良くない | 2件 |
| 5. 悪い | 2件 |
| 無回答 | 0件 |

■ 1. とても良い ■ 2. まあ良い ■ 3. どちらとも言えない ■ 4. あまり良くない ■ 5. 悪い ■ 無回答



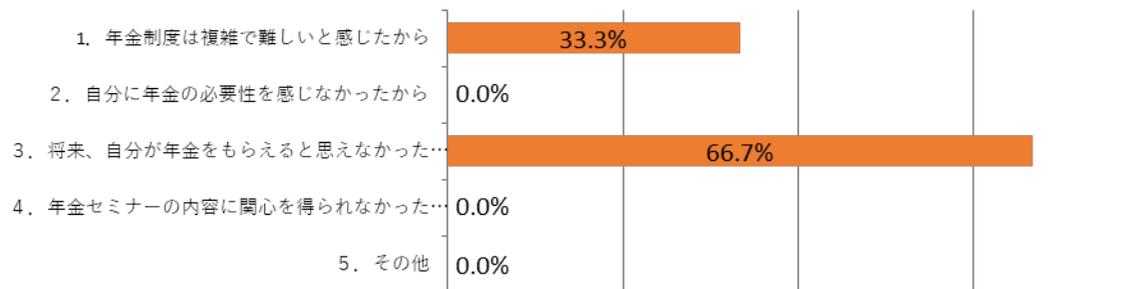
○ セミナー後

| 選択肢 | 回答 |
|--------------|-----|
| 1. とても良い | 32件 |
| 2. まあ良い | 13件 |
| 3. どちらとも言えない | 4件 |
| 4. あまり良くない | 1件 |
| 5. 悪い | 0件 |
| 無回答 | 0件 |



※セミナー後も「3. どちらとも言えない」「4. あまり良くない」「5. 悪い」を選択された方

| 選択肢 | 回答 |
|---------------------------|----|
| 1. 年金制度は複雑で難しいと感じたから | 1件 |
| 2. 自分に年金の必要性を感じなかったから | 0件 |
| 3. 将来、自分が年金をもらえると思えなかったから | 2件 |
| 4. 年金セミナーの内容に関心を得られなかったから | 0件 |
| 5. その他 | 0件 |



『まあ良い』以上の評価は、セミナー前の **58.0%** から、セミナー後は **90.0%** になりました。

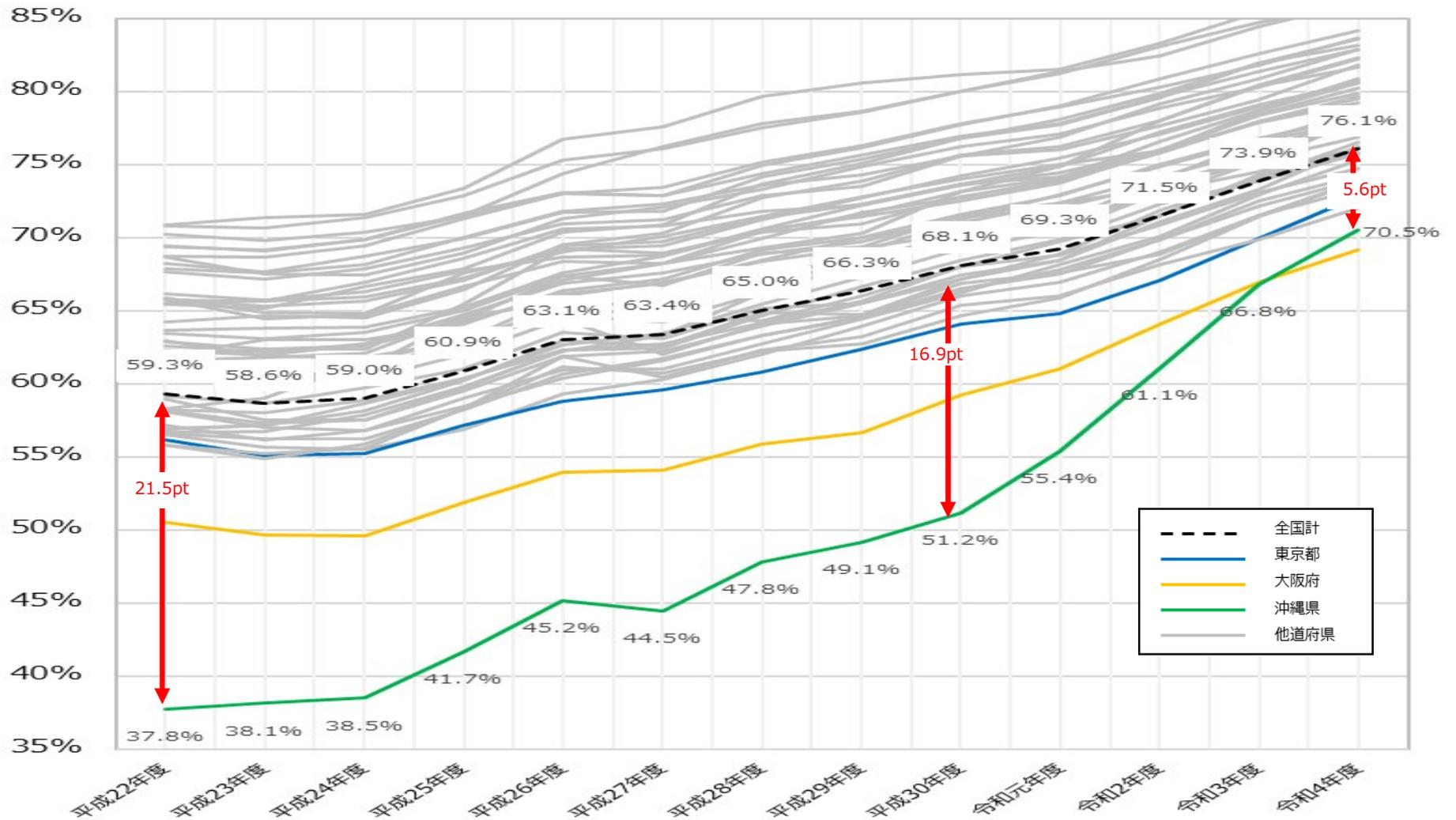
(4) アンケート（自由記載欄の内容）

- ・今まで年金の制度は一つだと思っていたけど、障害年金や遺族年金など困った時に年金はすごい良いなあと思いました。あと2年で年金を支払う歳になるから、今回の話を聞いてよかった。
- ・セミナーを受けて年金制度について少し理解できた。まだ分からない部分や新しく疑問に思った部分もあるけど、資料をよく読んだり自分で調べたりして、年金について深く理解できるようになりたいと思いました。
- ・年金について知らないことを知ることができました。私も20歳になったら学生の特例猶予の手続きを行いたいと思います。
- ・年金は仕事をしてから支払う義務があると思っていたけど、実際は20歳から支払う義務があるを知ったので、セミナーを受けて良かったと思います。
- ・年金は難しい話が多いから苦手意識があったけど、今日のセミナーで理解が深まった。
- ・年金を税金から半分払われていると知りました。年金はまだまだと思っていたけど、すぐ近くまで近づいていると実感しました。
- ・公的年金制度について理解することができ、この制度はとても大事だし必要だと思いました。また、払えなくなった場合、しっかり申請することが大切だと分かりました。

2. 沖縄県の国民年金保険料納付率（現年度）

（1）納付率の推移

○若年層への制度の理解を求めるための取組等を実施してきた結果、令和4年度末の納付率は、発足から3年半で全国との差を現年度で11.3ポイント、最終で8.7ポイント縮めるとともに、全国順位も大阪府を抜き、機構発足後初めて46位となりました。



(2) 年代別納付率の推移

- これまで全国と比較し、著しく低調だった20～24歳台の納付率については、発足から3年半で現年度で26.5ポイント、最終で17.6ポイント改善し、全国との差を現年度、最終ともに14.5ポイント縮めることができました。
- 県民生活の安定に向け、着実な成果を積み上げてきましたが、令和5年度も現在の体制を維持することにより、現年度納付率で全国平均に到達できるよう取組を継続してまいります。

